ナサニエル・ホーソーン研究

Working Checklist: 2020-2021

日本ナサニエル・ホーソーン協会資料室 田島優子(宮城学院女子大学) 竹井智子(京都工芸繊維大学)

I. Books

伊藤詔子 (訳著) 『【新編エドガー・アラン・ポー評論集】 ゴッサムの街と人々 他—— + 【論説】 コロナ時代にニューヨーク作家ポーを読む』 小鳥遊書房 (2020)

髙尾直知(著)『〈嘆き〉〉はホーソーンによく似合う』中央大学出版部(2020)

高野泰志・竹井智子(編著)『テクストと戯れる――アメリカ文学をどう読むか』松籟社(2021)

西山けい子(著)『エドガー・アラン・ポー―極限の体験、リアルとの出会い』新曜社(2020)

吉川朗子・川津雅江(編著)『トランスアトランティック・エコロジー――ロマン主義を語り直す』彩流社 (2019)

II. Dissertations

Komiyama, Mamiko. Retold Narratives in America: The Voice of Reclaiming Mourning for the Dead. 成蹊大学 文学研究科 (2021)

III. Bibliographies

該当なし

IV. Translations

該当なし

V. Articles

- 井坂義雄「閉じられた世界の逍遥: ホーソーン」『東日本英学史研究: 日本英学史学会東日本支部紀要』20 日本英学史学会東日本支部事務局 (2021) pp. 83-86.
- 川下剛「世界劇場からパフォーマンスへ――ホーソーン文学はパフォーマンス研究として考察できるのか」『広島修 大論集』61(1) 広島修道大学学術交流センター (2020) pp. 17-29.
- 倉橋洋子「『緋文字』と『白鯨』にみられる円環──コミュニティにおける共生に関連して」『共生文化研究』5 東海学園大学共生文化研究所 (2020) pp. 1-18.
- 小南悠「病いをぼかす――『緋文字』における天然痘の〈非表象化〉」『フォーラム』**26** 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2021) pp. 1-18.
- 佐々木英哲「エディプス惨劇の不条理性を読み解く: ホーソーンの「ロジャー・マルヴィンの埋葬」」『サイコアナリティカル英文学論叢』40 サイコアナリティカル英文学会 (2020) pp. 39-61.
- 中西佳世子「ホーソーンの「幽霊」目撃体験と創作――「ハリス博士の幽霊」」『テクストと戯れる――アメリカ文学をどう読むか』pp. 17-39.
- 濵田みゆき「ホーソーンの言葉と声、音楽 ──『緋文字』へつながる短編」『地域政策科学研究』17 鹿児島大学 (2020) pp. 157-74.

- 藤吉清次郎 「海賊、ディムズデールの声、A の文字——*The Scarlet Letter* 論」 『中・四国アメリカ文学研究』 56 中・四国アメリカ文学会 (2020) pp. 1-13.
- 増井志津代「『ブライズデイル・ロマンス』と「彷徨うマーガレットの亡霊」伝承」『The Journal of American and Canadian studies』37 上智大学アメリカ・カナダ研究所 (2019) pp. 31-64.
- Fujimura, Nozomi. "The Female Body, Male Subjectivity, and Narratives of Affect: Reexamining the Gothic and Comic Tales of Hawthorne and Poe." 『亜細亜大学学術文化紀要』37 亜細亜大学総合学術文化学会 (2020) pp. 21-38.
- Yoshida, Akemi. "Nathaniel Hawthorne, Mona Caird, and Thomas Hardy's *The Pursuit of the Well-Beloved* (1892)." 『渾沌: 近畿大学大学院総合文化研究科紀要(Chaos)』17 近畿大学大学院総合文化研究科 (2020) pp. 149-74.

VI. Reviews

- 生田和也『トランスアトランティック・エコロジー―ロマン主義を語り直す』(吉川朗子・川津雅江編)『フォーラム』26 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2021) pp. 19-25.
- 小宮山真美子 Archives of American Time: Literature and Modernity in the Nineteenth Century (Lloyd Pratt 著)『フォーラム』26 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2021) pp. 27-34.
- 佐久間みかよ『繋がりの詩学――近代アメリカの知的独立と〈知のコミュニティ〉の形成』(倉橋洋子・髙尾直知・ 竹野富美子・城戸光世編)『アメリカ文学研究』57 日本アメリカ文学会 (2020) pp. 21-27.
- 髙瀬祐子『ディズマル・スワンプのアメリカン・ルネサンス――ポーとダークキャノン』(伊藤詔子著)『英文學研究』97 日本英文學會 (2020) pp. 65-69.
- 高橋利明『ホーソーンのプロヴィデンス――芸術思想と長編創作の技法』(中西佳世子著)『英文學研究』97 日本英文學會 (2020) pp. 74-78.
- 中西佳世子『〈嘆き〉 はホーソーンによく似合う』(髙尾直知著)『図書新聞』3480 号 (2021. 1. 23) p. 4.
- 中野学而『下半身から読むアメリカ小説』(高野泰志著)『英文學研究』97 日本英文學會 (2020) pp. 69-74.
- 成田雅彦『〈嘆き[´]〉はホーソーンによく似合う』(髙尾直知著)『フォーラム』26 日本ナサニエル・ホーソーン協会 (2021) pp. 35-44.

VII. Essays & Miscellanies

青井格「九州支部研究会」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 11.

植村真未「先生のランプ――入子先生を偲んで――」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 16.

倉橋洋子「ウィズ・コロナ下での『牧師の黒いヴェール』再考」『NHSJ Newsletter』39 (2021) pp. 4-5.

- --- 「中部支部研究会」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 11.
- 小南悠「断絶と繋がりの感染表象――フォークナーとアメリカン・ルネサンス文学の場合」『NHSJ Newsletter』39 (2021) pp.2-3.

佐々木英哲「捨てる神あれば拾う神あり――オンライン学会」『NHSJ Newsletter』39 (2021) p. 9.

鈴木孝「特集:コロナ禍で問い直す文学」『NHSJ Newsletter』39 (2021) p. 2.

- --- 「東京支部研究会」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 10.
- --- 「事務局だより」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 12.
- 妹尾智美「アーヴィング・ホーソン・グロテスク——*The Alhambra* と *The House of the Seven Gables* をむすぶ夢の論理」(例会 研究発表要旨)『関西アメリカ文学』57 (2020) pp. 53-54.

髙尾直知「遠隔授業と文学教育、もしくは文学と遠隔」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) pp. 7-8.

--- 「編集室だより」『NHSJ Newsletter』39 (2021) p. 12.

田島優子「資料室だより」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 13.

巽孝之「ファンショーの天国――入子文子先生追悼――」『NHSJ Newsletter』39 (2021) p. 16.

辻祥子「第 39 回大会のお知らせ」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) pp. 14-15.

中西佳世子「関西支部研究会」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 11.

中村栄造「遠隔授業と文学教育を考える――欧米文化論のリモート体験記」『NHSJ Newsletter』39 (2021) pp. 8-9.

中村善雄「入子先生を偲んで」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 17.

成田雅彦「感染と青い電燈」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) pp.3-4.

西谷拓哉「ご挨拶」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 1.

丹羽隆昭「コロナ時代のホーソーン研究」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) pp. 5-6.

乘口眞一郎「なってくるのが宇宙の定め」『NHSJ Newsletter』39 (2021) pp. 6-7.

水野眞理「エリヤのごとく」『NHSJ Newsletter』 39 (2021) p. 17.

- ※昨年度発行の「ナサニエル・ホーソーン研究——Working Checklist: 2019-2020」に掲載した論文の著者名の英語表記に誤植がございました。心よりお詫び申し上げます。
 - (誤) Fujiwara, Nozomi
 - (正) Fujimura, Nozomi
- ※論文の記載漏れなどお気づきの点がございましたら資料室担当者までお知らせください。また、論文などを執筆された際には資料室に一部お送りいただくか、あるいはタイトルなどを資料室担当者までお知らせください。